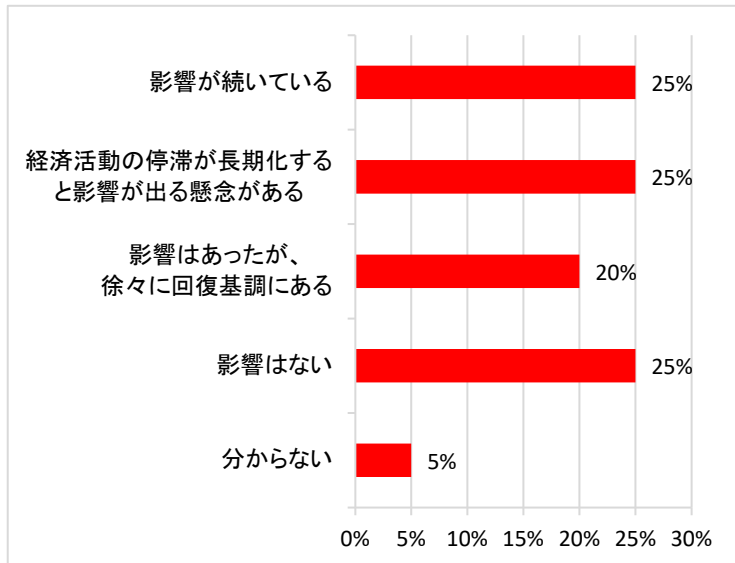


【 2020年7月実施 新型コロナウイルスの影響に関するアンケート集計結果 】

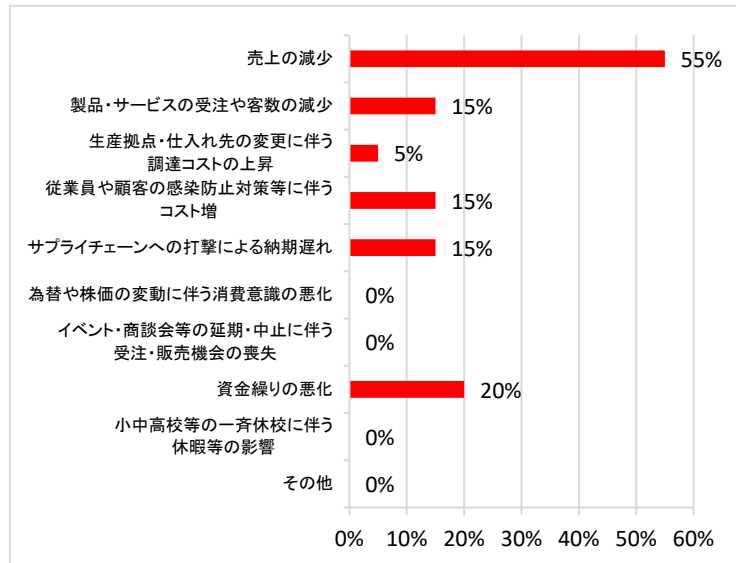
◆◆ 建設業 ◆◆

新型コロナウイルスによる経営への影響はありますか？



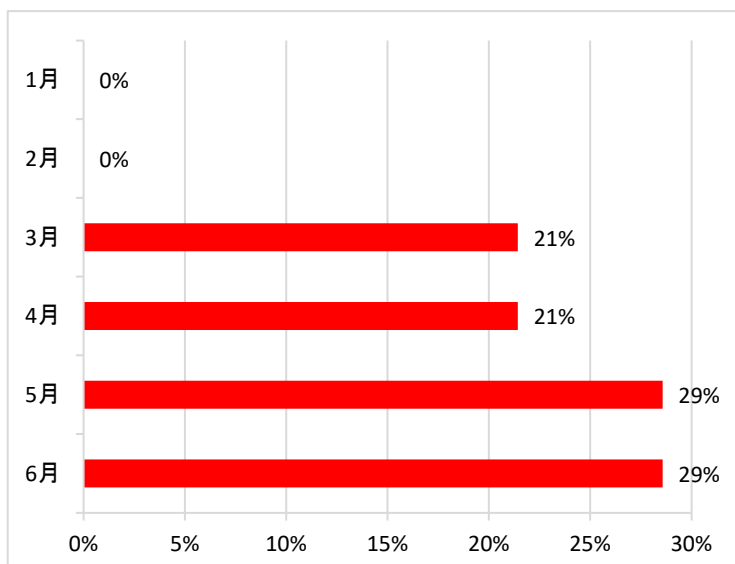
「影響が続いている」「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」が25%と回答している、一方で「影響はない」も25%となっている。

具体的にどのような影響を受けましたか？



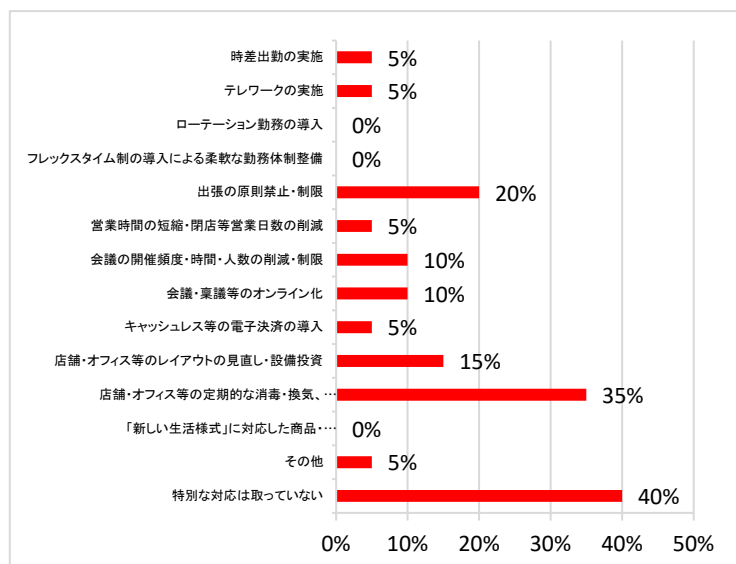
「売上の減少」が55%と一番多く回答しており、続いて「資金繰りの悪化」が20%となっている。

一番影響を受けた月は何月ですか？



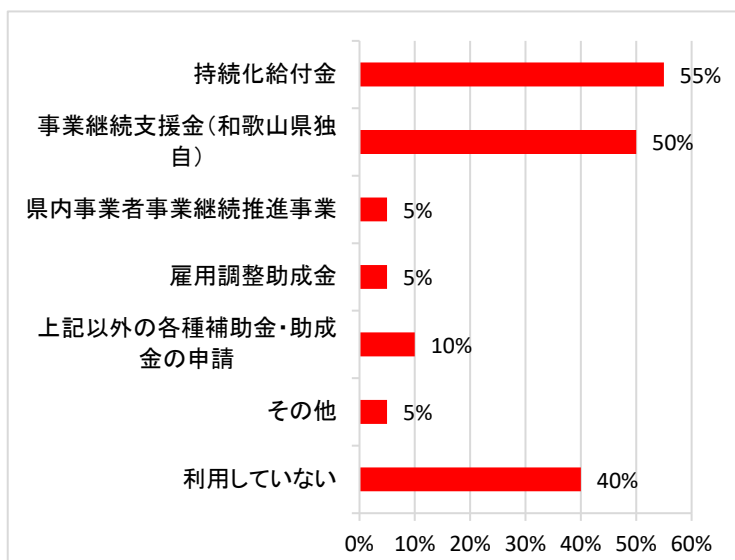
「5月」「6月」が29%、「3月」「4月」が21%となっている。

感染を防ぐために貴社で行った対策はありますか？



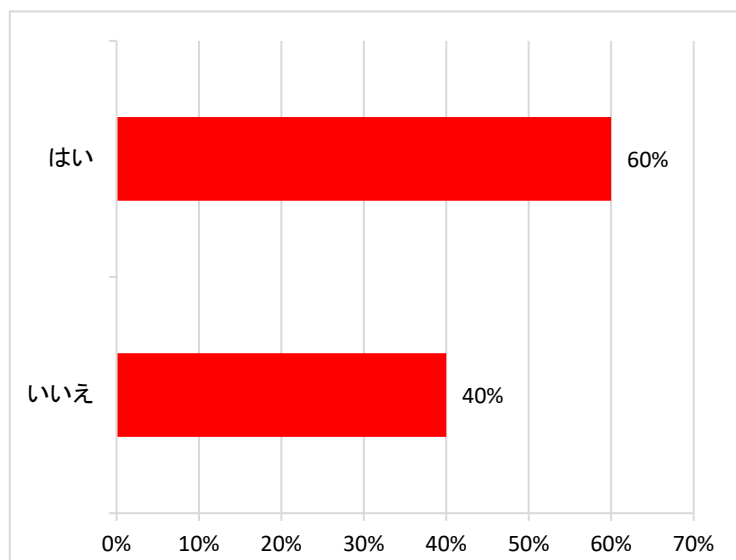
行った対策では「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」が35%と一番多く回答している、一方で「特別な対応は取っていない」が40%となっている。

新型コロナウイルスに係る支援策を利用されましたか？



「持続化給付金」が55%、「事業継続支援金(和歌山県独自)」が50%、「利用していない」が40%といった利用状況となっている。

新型コロナウイルスに係る融資制度(「日本政策金融公庫による新型コロナウイルス感染症特別貸付」や「セーフティネット貸付・保証」など)を利用されましたか？



新型コロナウイルスに係る融資制度については60%の事業所が利用している。